

私は、日本共産党を代表して、請願第1号野田市における土曜授業中止を求める請願に賛成の立場で討論致します。

皆様御存じのように、野田市の土曜授業は11年前から始まりました。当初は、野田市内の小中学生の学力向上を目的に始まりました。

この11年間の目的の推移の中で、直近では、「児童生徒の心理的安定を醸成し学校生活を充実させるために、『学校は地域社会と共にある』ことを意識し、土曜ならではの、地域や保護者等に関われた授業を教育課程内で行うことにより、児童生徒の活動を直接、地域や保護者の方々に見ていただき称賛される機会とすること」を主な目的としています。

このことは、土曜授業がこの間の経過の中で、当初の目的とは異なる結果となっていることが分かってきたのではないかと思います。

子供たちと教職員への負担感の増加は、児童、生徒、保護者、教職員へのアンケートにも表れています。教職員からは、「児童生徒の意欲・体調」や「自分の体調」を考えて行くべきとの答えが半数に上っている事が特徴的です。児童生徒からも「疲れがとれない」「意欲がわからない」など声が多数となっています。保護者からも疑問が出されています。

教員未配置問題は深刻で、教員の働き方改革が叫ばれています。野田市の土曜授業については子供たちや保護者の皆さんからも決して歓迎されているとは言えません。

日本共産党は、教員の労働時間の短縮は、教員の人生を豊かにし、それが教育を豊かにするという大きな意義があると考えています。何よりも、その事が子供たちにとっても大切な事であると考えています。そのためには、学校現場に負担となっている施策の削減や中止、廃止など、教職員の話し合いに基づく業務の見直しを進める事も大切と考えています。

よって請願第1号野田市における土曜授業中止を求める請願に賛成です。